

もくじ

1 整数の計算(1).....	3	26 四則の混じった計算(1).....	78
2 整数の計算(2).....	6	27 四則の混じった計算(2).....	81
3 小数の計算(1).....	9	28 素因数分解.....	84
4 小数の計算(2).....	12	29 積の表し方.....	87
5 小数の計算(3).....	15	30 商の表し方.....	90
6 分数の計算(1).....	18	31 記号を使って表す.....	93
7 分数の計算(2).....	21	32 式の値(1).....	96
8 分数の計算(3).....	24	33 式の値(2).....	99
9 分数の計算(4).....	27	34 同類項.....	102
10 分数の計算(5).....	30	35 1次式の加減(1).....	105
11 比(1).....	33	36 1次式の加減(2).....	108
12 比(2).....	36	37 1次式と数の乗法(1).....	111
13 正負の数の加法(1).....	39	38 1次式と数の乗法(2).....	114
14 正負の数の加法(2).....	42	39 1次式と数の乗法(3).....	117
15 正負の数の加法(3).....	45	40 1次式と数の乗法(4).....	120
16 正負の数の減法.....	48	41 1次式と数の除法.....	123
17 加法と減法の混じった計算(1).....	51	42 分配法則の利用.....	126
18 加法と減法の混じった計算(2).....	54	43 等式の性質を使って解く1次方程式(1)...	129
19 正負の数の乗法(1).....	57	44 等式の性質を使って解く1次方程式(2)...	132
20 正負の数の乗法(2).....	60	45 移項の考えを使って解く1次方程式(1)...	135
21 正負の数の乗法(3).....	63	46 移項の考えを使って解く1次方程式(2)...	138
22 正負の数の乗法(4).....	66	47 カッコのある1次方程式.....	141
23 正負の数の除法(1).....	69	48 いろいろな1次方程式(1).....	144
24 正負の数の除法(2).....	72	49 いろいろな1次方程式(2).....	147
25 乗法と除法の混じった計算.....	75	50 比例式.....	150

・13・ 正負の数の加法 (1)

ポイント

❖ +4や+9のような数を正の数といい、-2や-7.5のような数を負の数という。+4や+9は4や9と同じである。

❖ 数直線上で、ある数に対応する点と原点との距離を、その数の絶対値という。絶対値は、数からその符号を取り去った値である。

例 +4の絶対値は4 -3の絶対値は3 0の絶対値は0

❖ 同符号の2数の和は、絶対値の和に共通の符号をつける。

例 $(+4) + (+2) = +(4+2) = +6$

$(-3) + (-2) = -(3+2) = -5$

❖ 異符号の2数の和は、絶対値の差に、絶対値の大きいほうの符号をつける。

例 $(+5) + (-7) = -(7-5) = -2$

$(-3) + (+6) = +(6-3) = +3$

❖ 絶対値が等しい異符号の2数の和は0である。

例 $(-8) + (+8) = 0$

❖ どんな数に0を加えても、和ははじめの数になる。また、0にどんな数を加えても、和は加えた数になる。

例 $(-4) + 0 = -4$

$0 + (-5) = -5$

同符号の2数の加法 ①

次の計算をなさい。

□(1) $(+5) + (+2)$

□(2) $(+7) + (+1)$

□(3) $(+4) + (+6)$

□(4) $(+3) + (+8)$

□(5) $(+8) + (+17)$

□(6) $(+5) + (+16)$

□(7) $(+13) + (+9)$

□(8) $(+18) + (+4)$

□(9) $(+24) + (+19)$

□(10) $(+16) + (+37)$

学習日

得点

アドバイス

(1) 絶対値の和に、共通の符号+をつける。

$$\begin{array}{c} \text{共通の符号} \\ \downarrow \\ (+5) + (+2) = +(5+2) \\ \uparrow \\ \text{絶対値の和} \end{array}$$

(5) $(+8) + (+17) = +(8+17)$

(7) $(+13) + (+9) = +(13+9)$

(9) $(+24) + (+19) = +(24+19)$

同符号の2数の加法 ②

次の計算をしなさい。

□(1) $(-2)+(-3)$

□(2) $(-1)+(-5)$

□(3) $(-6)+(-7)$

□(4) $(-9)+(-4)$

□(5) $(-11)+(-6)$

□(6) $(-13)+(-10)$

□(7) $(-17)+(-15)$

□(8) $(-12)+(-18)$

□(9) $(-25)+(-8)$

□(10) $(-16)+(-39)$

学習日

得点

アドバイス

(1) 絶対値の和に、共通の符号-をつける。

$$(-2)+(-3)$$

-2の絶対値は2

-3の絶対値は3

絶対値の和は、 $2+3=5$

共通の符号は-

$$(-2)+(-3)=- (2+3)$$

(2) $(-1)+(-5)=- (1+5)$

(5) $(-11)+(-6)=- (11+6)$

(7) $(-17)+(-15)=- (17+15)$

(9) $(-25)+(-8)=- (25+8)$

異符号の2数の加法 ①

次の計算をしなさい。

□(1) $(+5)+(-3)$

□(2) $(+5)+(-9)$

□(3) $(+8)+(-6)$

□(4) $(+10)+(-4)$

□(5) $(+11)+(-15)$

□(6) $(+13)+(-13)$

□(7) $0+(-26)$

□(8) $(+19)+0$

□(9) $(+23)+(-31)$

□(10) $(+25)+(-15)$

学習日

得点

アドバイス

(1) $(+5)+(-3)$

+5の絶対値は5

-3の絶対値は3

$5>3$ だから、

計算結果の符号は+

絶対値の差は $5-3=2$

$$(+5)+(-3)=+(5-3)$$

(2) $(+5)+(-9)$

+5の絶対値は5

-9の絶対値は9

$9>5$ だから、

計算結果の符号は-

絶対値の差は $9-5=4$

$$(+5)+(-9)=- (9-5)$$

(6) $(+13)+(-13)=+(13-13)$

答えが0になるとき、0に符号はつけない。

異符号の2数の加法 ②

学習日

得点

次の計算をしなさい。

□(1) $(-6) + (+2)$

□(2) $(-8) + (+1)$

□(3) $(-3) + (+7)$

□(4) $(-9) + (+9)$

□(5) $(-11) + (+5)$

□(6) $(-13) + (+16)$

□(7) $(-18) + (+7)$

□(8) $(-14) + (+21)$

□(9) $(-35) + (+17)$

□(10) $(-27) + (+43)$

アドバイス

- (1) $(-6) + (+2)$
 -6 の絶対値は6
 $+2$ の絶対値は2
 $6 > 2$ だから、
 計算結果の符号は-
 絶対値の差は $6 - 2 = 4$
 $(-6) + (+2) = -(6 - 2)$
- (3) $(-3) + (+7)$
 -3 の絶対値は3
 $+7$ の絶対値は7
 $7 > 3$ だから、
 計算結果の符号は+
 絶対値の差は $7 - 3 = 4$
 $(-3) + (+7) = +(7 - 3)$

ふ り か え る

学習日

得点

次の計算をしなさい。(ただし、(7), (8)は□にあてはまる数を求めなさい。)

□(1) 1.8×4.5

□(2) $27.3 \div 1.3$

④

⑤

□(3) $1\frac{2}{7} - \frac{5}{7}$

□(4) $\frac{1}{6} + \frac{11}{30}$

⑥

⑥

□(5) $1 - \frac{5}{6} \times \frac{2}{5}$

□(6) $\frac{2}{3} \div \frac{8}{15}$

⑦

⑧

□(7) $4 : 7 = 6 : \square$

□(8) $15 : 9 = \square : 6$

⑪

⑪

□(9) $(-16) + (-7)$

□(10) $(+23) + (-18)$

⑬

⑬